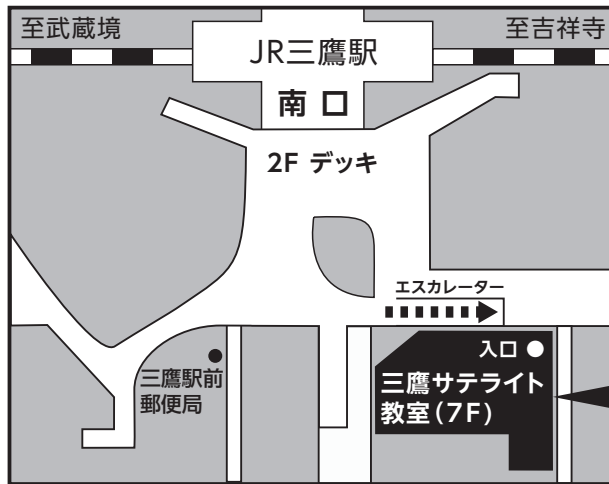


現代と異なる中世仏教の言葉

受講料 (振込額)	12,500円			
必携テキスト	――			
講座概要	曜日	月曜日		日程
	時間	10:00～11:30		
	回数	全5回	定員	40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室		
講師	本学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所史料情報管理チーム 生駒 哲郎 (いこま てつろう)			
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。 山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、武蔵野大学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議委員。主要著書日本の名僧6『重源:旅の勸進聖』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院体制と社会』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院と都市・権力』(共著 山川出版社)、『山岳信仰と村落社会』(共著 岩田書院)			
内容	例えば「逆縁」(ぎゃくえん)という仏教語があります。現在では、子どもより親が先に亡くなり、子どもが親の葬儀を執り行うことが年齢的に多いのですが、それとは逆に子どもが親より先に亡くなり、親が子どもの葬儀を出すことを「逆縁」と言います。しかし、中世ではそうした意味ではなく、悪事がきっかけとなって仏道に帰依(きえ)することを意味します。そうした中世と現代とで異なる言葉を、皆さんと考える講座です。 ちなみに「自由」は中世では「勝手気まま」、「支配」は中世では「分配」のことです。 豆知識を増やしましょう。			
	①5月13日：逆縁(ぎゃくえん) ②5月27日：魔人(まじん) ③6月10日：勝地(しょうち) ④6月17日：山・寺(やま・てら) ⑤6月24日：法親王(ほっしんのう)			



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。